

会 議 概 要

会議の名称	令和 3 年度第 3 回久喜市立図書館運営審議会
開催年月日	令和 4 年 3 月 1 1 日 (金)
開始・終了時刻	午後 2 時 0 0 分から午後 4 時 0 0 分
開催場所	鷺宮総合支所 4 階 4 0 6、4 0 7 会議室
議長氏名	塩崎 勲 (会長)
出席委員 (者) 氏名	塩崎 勲・佐藤利幸・松本秀樹・三根 和・青山里美・ 玉置政美・鈴木一雄・芋川 修・柴崎和雄
欠席委員 (者) 氏名	沖沢香織
説明者の職氏名	諏訪生涯学習課長補佐兼図書館係長・小林中央図書館長・井上 菖蒲図書館長・藤川栗橋文化会館図書室館長・佐々木鷺宮図書 館長
事務局職員の職氏名	柿沼教育長・野原教育部長・吉澤教育副部長・坂東生涯学習課 長・小林生涯学習課主幹・諏訪生涯学習課長補佐兼図書館係長・ 長谷川担当主査兼司書・福島主任・小林中央図書館長・井上菖 蒲図書館長・藤川栗橋文化会館図書室館長・佐々木鷺宮図書館 長
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 令和 4 年度事業計画について (2) その他 4 閉会
配布資料	令和 3 年度第 3 回久喜市立図書館運営審議会次第 資料 1 令和 4 年度事業計画
会議の公開又は非公開	公開
傍聴人数	0 人

審 議 会 等 会 議 録

発 言 者	・ 会 議 の て ん 末 ・ 概 要
司会（諏訪課長補佐）	<p>皆様こんにちは。お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます生涯学習課図書館係の諏訪と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>また、本日も新型コロナウイルス感染症対策のため、間隔を空けて座っていただいておりますので、ご了承いただきたいと存じます。</p> <p>それでは、ただいまから令和 3 年度第 3 回久喜市立図書館運営審議会を開会させていただきます。開会に先立ちまして、現在の出席委員につきましてご報告いたします。委員 10 名中、出席委員 9 名でございます。この人数は、久喜市立図書館運営審議会規則第 3 条第 2 項に規定する定足数に達しておりますので、本会議が成立していることを報告させていただきます。</p> <p>次に、本日の会議資料の確認をさせていただきます。</p> <p>事前に送付いたしました資料でございますが、まず次第、それと資料 1「令和 4 年度事業計画書」となっております。お手元におそろいでしょうか。</p> <p>本会議は、久喜市審議会等の会議の公開に関する条例第 3 条の規定に基づき、原則公開としております。また、同条例第 9 号及び第 10 号の規定に基づき、会議録を作成して公開するため、本日の会議の内容を録音させていただきますので、ご了承いただきたいと存じます。なお、会議録の作成にあたり、音声を認識する会議録作成システムを導入しております。マイクを通して話していただきますと、文字として起こされますので、発言の際はマイクを使用させていただきますようお願いいたします。</p> <p>続きまして、塩崎会長よりごあいさつを申し上げます。</p>
議長（塩崎会長）	～会長あいさつ～
司会（諏訪課長補佐）	続きまして、柿沼教育長よりごあいさつを申し上げます。
柿沼教育長	～教育長あいさつ～

司会（諏訪課長補佐）	<p>ありがとうございました。なお、教育長におかれましては、次の公務のため、ここで退席させていただきますので、ご了承くださいと存じます。</p> <p>それでは早速会議に入らせていただきます。議事の進行につきましては、久喜市立図書館運営審議会規則第3条第1項の規定により会長が議長になることになっておりますので、塩崎会長をお願いいたします。</p>
議長（塩崎会長）	<p>それでは、議事進行を務めさせていただきます。円滑に議事が進行いたしますよう皆様方のご協力をお願いいたします。</p> <p>今回の会議録の署名は、柴崎委員と佐藤委員をお願いいたします。それでは、早速議事に入らせていただきます。</p> <p>1番目の令和4年度事業計画についてを議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。</p>
小林中央図書館長	<p>それでは中央図書館の小林の方からご説明させていただきます。すでに事業計画書を見ていただいているかと思いますが、ページも多いので、概略をお話していきたいんですが、途中でご質問等入る形にした方がよろしいでしょうか。全部言ってしまうよりは、どう進めましょうか。</p>
議長（塩崎会長）	<p>最初から始めましょうかね。単元単元で、質問もらいましょう。</p>
小林中央図書館長	<p>はい。わかりました。それでは2ページをお開きください。</p> <p>～資料に基づき説明（2ページ）～</p>
議長（塩崎会長）	<p>ただいま重点目標1から3までございました。冒頭に言いましたけど、今年が図書館流通センター受託4年目なんですよ。本当に今まで2年間、コロナに遭っちゃってなかなか腕が振るえなかったんだろうと思いますけど、今年あたりどうかな。コロナも落ち着いてくれればいいと思いますので。最後、頑張ってください。ご質問を承ります。</p> <p>まず私の方からデジタルアーカイブですけど、これはどこへ申し込めばできるんですか。</p>
小林中央図書館長	<p>インターネット上に上がっておりますので、久喜市デジタル</p>

アーカイブで検索していただければできますし、図書館ホームページにもバナーを貼っておりますので、そこからも入れます。そこから、簡単に見ることができます。

議長（塩崎会長）

そうですか。皆さんいかがですか。いいですか。

小林中央図書館長

1 つ付け加えさせてください。重点目標の 3 に入るところですが、電子図書館につきましても、毎年予算を付けて資料を拡充しております。先だってこれは図書館流通センターの方で、カウントしている数字がわかりまして、なんと久喜市は埼玉県で 10 ぐらいの自治体やってるんですが、トップなんですね、貸し出しの方が。全国でも確か 7 位ぐらいにいて。

個人的には、カウンターで普通の本を借りてくれる人に比べて 1 桁少ないんで、もっともっと借りて欲しいなと思っているところ、電子図書館っていうのは、そんなにたくさん借りられるものではないものようで、全国レベルではですね。

ですから私は決して多くないと思っていた貸出数が、実は全国でも上位にいるということがわかりました。

議長（塩崎会長）

やっぱり、伸びているんだね。

小林中央図書館長

電子図書館っていうのは、前から申し上げてるように、普通の紙の本とは違って利用者にもちょっとこう特色をつけてね。例えばお料理関係ですとか、旅行の本ですとか、それから若者向けなど、少しこう、ある意味偏ったというところ変ですけども、特色をつけた蔵書構成にしておりますから、それが受けているのかと思っております。以上です。

議長（塩崎会長）

電子図書館について、ご質問ございませんか。電子図書館やるのに料金は。

小林中央図書館長

もちろんありません。

議長（塩崎会長）

はい。それから、作家がある記事を書いていて、電子図書館について利用の状況を述べてたんですけど。

ただ電子図書館の場合は、紙の場合だったら自分の良いテキスト、あるいはフレーズね、良い文章があったときに、止めてそこをね、何ページにあったかっていうのをもう 1 回見ること

ができるけど、電子図書だとパーツと流れちゃうから。それがちょっと残念だなんていうことだったんですが、どうなんですか。

小林中央図書館長

自らページをめくるような作りになっておりますので、止めておくことはもちろん可能です。物によってだと思っておりますが、マーカーを引くような機能というものもありますから、本と同じとは言いませんが、本に近い形での閲覧が可能だと思います。

議長（塩崎会長）

このページ、よろしいですか。ご質問ございましたら、どなたか。いいですか。次ページいきましょう。

小林中央図書館長

～資料に基づき説明（4～8 ページ）～

議長（塩崎会長）

とりあえずここまでで。ここまでのところ、運営面で何か。栗橋さんとか、やりにくいところはなかった、もう慣れてきた。

藤川栗橋文化会館図書室館長

はい。特に問題なく運営できていると思います。

議長（塩崎会長）

コロナの時期はどうでした。図書館の利用者の利用率は。

小林中央図書館長

正直申しまして少ないですね。

やはり皆さん、もう最近は言いませんが、いわゆる不要不急の対象ではないと思うので、例えば中央図書館で言えば、かつては、日に 500 人、土日は 800 人っていうのは、一応、目安というか、お客様だったんですが、今は、平日は 300 人。昨日などは 300 人を切って 200 人台でした。土日は 500 人ですから、3 割から 4 割ぐらい減っているというのが実情です。

議長（塩崎会長）

後半頑張るんだね。

小林中央図書館長

入館者の数だけですけれども。

議長（塩崎会長）

それと、こちらサイドで言うような質問ばかりで申し訳ないんだけど、リピーターは大体わかってるんだろうけど、指定管理者が今度は運営してるなっていうのは、一般の人から見てどう。前より、今度は大分よくなったねとか、いろんな声は聞

く。

小林中央図書館長

先日までウェブによるアンケート、図書館アンケートを2週間にわたって取りました。今集計中なので公表は3月末になりますけれども、ざっと内容は見ました。そうですね、指定管理者になってとは、指定管理者という言葉が使われてる方は少ないですが、現在の体制になって良かったっていうのが散見されます。

議長（塩崎会長）

そうですね。我々、指定管理にした方もやっぱりね、心配ですからね、その辺はね。ありがとうございます。一応今のところは職員の配置等々まで、各館の運営の状況等、ここまでよろしいですか。次の9ページ。

小林中央図書館長

～資料に基づき説明（9ページ）～

議長（塩崎会長）

芋川さん、お願いします。

芋川委員

収支予算表ではないんですけれども、令和3年度の収支差額の見込みは、どのような状況になっているのでしょうか。

小林中央図書館長

すいません。今日は来年度の事業計画書っていうことで、収支計画はまとめて持ってきてるんですが、決算といいますか報告書の方は持ってきてないんで、今この場で何とも数字もないし表もないんで言えないんですが、どういったことでしょうか。

芋川委員

収支差額が、もしプラスとなるのであれば、そのプラスになったものについては、できればできるだけ市民の読書活動に役立つようなことに還元してもらえればありがたいなと思っておりました。

小林中央図書館長

委員さんがおっしゃってるものと直接合うかどうかあれなんですけど、委託料のところと賃借料のところ、年度の途中、年度によってちょっと項目を変えたところがあるんですね。それで、今教育委員会さんからお借りした資料で、令和4年度と令和3年度の差額というところがありまして、使用料賃借料がマイナスの268万円に対して、委託料はプラスの306万円ということで、随分金額が違ってることがあるんですが、これは項目

といいますか中身を少し入れ替えをしてるので、予算に対して、1つの項目で見るとマイナスとプラスが大きく出ておるんですが、合計してみればそれほど大きくはならないというところで、ご了解をいただきたいと思います。

芋川委員

収入から支出を引いた収支差額が、令和3年度はどのような見込みになってるのかなっていうのが知りたかったんです。

もし仮にプラスの収支差額になっているのであれば、多くは指定管理者さんの企業努力によってプラスになっているんだと思うんですけども、そのプラスの部分については、市民の読書活動に使えるような、役に立つような方面に還元をしていたらあればありがたいなという思いがあります。

小林中央図書館長

はい、すいません。差額が出るようであれば、おっしゃったように市民サービスの還元という形でやっていきたいと思っております。令和3年度につきましては、今まだ終わってないんで何とも言えないんですけども、出た場合はそのような形で考えております。

議長（塩崎会長）

諏訪さん。決算書は、まだ出てないでしょう。3月まだ残ってるから。

事務局（諏訪課長補佐）

はい。令和3年度の決算額は、まだ出てないんですけども、基本的に指定管理料でお支払いしてる分については全額支出されるということで、今のところ差額は出ないっていうところです。

議長（塩崎会長）

確かに予算表だけだと、いつも中身はあんまり明白でないと質問する方もしにくいかもわかんないな、これは。いずれまた出たら、簡単でもいいからね、出しておいてもらってね。

小林中央図書館長

この運営審議会場で、来年度の1回目か2回目かわかりませんが、お話する機会があると思いますので、ご説明したいと思っております。

議長（塩崎会長）

そうですね、お願いします。芋川さん、よろしいですか。

芋川委員

はい。

議長（塩崎会長）	ありがとうございました。他にございますか。なければ次お願いします。
小林中央図書館長	～資料に基づき説明（10～16 ページ）～
議長（塩崎会長）	はい。ご質問承ります。ここまでのかがですか。毎年、新入社員は何人ぐらい入るの、本社には。
小林中央図書館長	本社は、わかりませんが数百人だと思います。
議長（塩崎会長）	数百人。テーマの研修等々は、1年生がみんな受けてるの。
小林中央図書館長	入る時に受ける研修と、1年目に受ける研修、2年目以降に受ける研修、その他責任者になった時に受ける研修、その他自由に受けられる研修、4つ5つに分かれております。
議長（塩崎会長）	そうですか。ご質問ありますか。この部分は内部的なことですからね。よろしいですか。次お願いします。
小林中央図書館長	～資料に基づき説明（17～23 ページ）～
議長（塩崎会長）	時には地震の訓練なんかやってるの。
小林中央図書館長	地震だけではないんですが、消防訓練の中で避難訓練は行っております。
議長（塩崎会長）	そうですか。
小林中央図書館長	あとは20ページにある苦情発生というところで、いわゆるクレームの処理ですね。 これにつきましてはある意味、大きい小さいありますけれども、日常的にっていうのもあれですが、起きることがありますね。たまには警察を呼ぶなんてことがありました。 基本は思い違いといいますか、我々が行っている平等なサービスということと、利用者が思われる自分に対するサービスがずれてしまうことで、苦情になってしまうってことが多いんですけども、きちんと説明をしてご納得いただけるようにしております。

議長（塩崎会長）	警察を呼ぶような行為ってのは、どんなの。なんで本を借りに来るような人が。そんな人もいるの。
小林中央図書館長	建物に向けて立ち小便をしちゃいましてね。それをうちの清掃の方が見つけたというか、現行犯だったもんですからね。ご本人に確認をして、お認めになったもんですから、お巡りさん呼びました。
議長（塩崎会長）	なんだそれは、本借りに来てる人なの、それは。それともただ遊びに来ている。
小林中央図書館長	借りてはないと思うんですが、日々、館内で読書なり新聞を読んでいた人ですね。
議長（塩崎会長）	それは、複数で。
小林中央図書館長	お1人です。図書館っていうのは1人の利用が多いですね。
議長（塩崎会長）	何で、館内でおしっこしちゃうっていうわけ。
小林中央図書館長	それは、ご病気もあるようではしょうがないんですけども。トイレが間に合わなかったっていうのは、しょうがないのでそれは何もとがめてはないんですが、でも濡らしてしまったら履き替えてくださいねとか注意はしていたんですけども。その方は外へ出て、自分の意思で建物に向けて用を足したものですから、それは違うんじゃないのと思って、お巡りさん呼びました。
議長（塩崎会長）	後はどうなの、本の中身をくり抜いたりとか、そういうのはこの頃もうあんまりない。
小林中央図書館長	そうですね。それはあまり最近聞かないですね。
議長（塩崎会長）	最近聞かなくなったか。昔はあったんだよね。
小林中央図書館長	そうですね。いつでもどこでも起き得ることで、借りてしまったらもうわからないので、家へ持って帰ったものはわからないんですが。あまりないですね。

議長（塩崎会長）	今はたくさん何冊も借りられるから、あれでしょう。変なものなきにしもあらずってことはないんだ、返却するときに。
小林中央図書館長	一部の人は本当に100冊借りる人もいますね。
議長（塩崎会長）	それはちゃんと100冊返ってくるの。
小林中央図書館長	もちろん返していただいています。いろいろな手段を使って、長期に借りることもできてしまうので。
(放送)	(東日本大震災 黙とう)
議長（塩崎会長）	芋川館長、やっぱり、今のようなこともあるんですか、県立あたりでは。
芋川委員	同じような事例はないですけども、中にはやはり病気で、失禁してしまった方がいて、その方についてはタクシーを呼んで、ご自宅まで送ったという、そういう例はあります。 警察を呼ぶ案件は、今、私がいる2年間はありませんでした。
議長（塩崎会長）	はい、ありがとうございました。ご質問ございましたら、どなたでも結構です。
小林中央図書館長	もう1つ追加で、これも先日、鷺宮で起こった例なんで、鷺宮の館長の方から。
佐々木鷺宮図書館長	はい。鷺宮図書館です。残念ながら警察を呼ぶという事案がありました。 女子トイレの下の隙間から、盗撮をしようとしたということで、被害に遭われたご本人が気が付きまして、図書館の方に相談を受けて、110番通報して、その場で現行犯で逮捕という形の事案がありました。 その後、トイレの方は隙間を塞ぐ対応をしまして、こういったことが起こらないように対応をしております。
議長（塩崎会長）	はい。ありがとうございました。いろいろね、ニュース報道であるようなことがやっぱりあるんですね、近場にもね。 他に質問ございますか。なければ、次お願いします。

小林中央図書館長	～資料に基づき説明（24～30 ページ）～
議長（塩崎会長）	今のところ、質問をお受けいたします。 図書館だより、これは中央で出していますか、みんな。
小林中央図書館長	4館で分担をして、4館で配布しています。
議長（塩崎会長）	キッズ版も出してんだ。
小林中央図書館長	そうです。2種類ですね。
議長（塩崎会長）	障がい者サービスのLLブックなんかは、やってる。
小林中央図書館長	出版自体はあまり多くないんですけども、各館で少しずつ 持っております。
議長（塩崎会長）	これは、芋川さんところ（県立）でやってんだよね。LLブッ クはね。障がい者の方なんかもやっぱり結構利用者多いんです か。
小林中央図書館長	あまりいらっしゃらないですよ。問い合わせはあるんです けれども。
議長（塩崎会長）	このページ、ご質問ございましたら、何でも結構ですよ。プ ロなんですから相手は。なければ新規事業いきましようか。
小林中央図書館長	はい。7番、図書館事業ということで31ページになります。 指定管理が始まって来年度で4年目を迎える中で、多くの新規 事業を今まで始めていたこともありまして、毎年増やし続ける ということはどこかでやはり限界がきてしまいますので、来年 度につきましては、この1つということで考えております。栗 橋の方から。
藤川栗橋文化会館図書室館長	～資料に基づき説明（31 ページ）～
議長（塩崎会長）	はい。ありがとうございます。これは今年からやろうってん だね。

藤川栗橋文化会館図書室館長	そうですね。令和4年度中に実施したいと思います。
議長（塩崎会長）	俳句協会は、地元の俳句協会。
藤川栗橋文化会館図書室館長	全国に俳句協会の方がいらっしゃるようなので、近くからもしかしたら派遣されるかもしれないんですけども。
議長（塩崎会長）	もう何人か募集があった。
藤川栗橋文化会館図書室館長	いえまだです。4月以降からになります。
議長（塩崎会長）	<p>地元には俳句の会がいっぱいあるんだろうけどね。栗橋あたりもね。久喜もそれなりにありますけどね。</p> <p>テレビでも随分盛んになったからね、夏井いつきさんが随分ね、広めたから大したもんだけど。俳句も結構楽しいからね、俳句も短歌もね、なんでもね。</p> <p>委員の皆さんで俳句やってる、短歌やってるっていう人いらっしゃいますか。芋川さん、俳句やってますか。</p>
芋川委員	いいえ。
議長（塩崎会長）	佐藤さんは。
佐藤委員	いいえ。
議長（塩崎会長）	副会長は。
松本委員	いいえ。
議長（塩崎会長）	<p>そうですか。今度私、来月20日、ここの5階で講義やりますからもしよかったら来てください。高齢者大学の方の講師、毎年やってますから。日本文学の方を少しやらせてもらってます。ありがとうございました。</p> <p>継続事業の方行きましようか。</p>
小林中央図書館長	<p>それでは32ページ(2)の継続事業。32ページは共通事業ということで4館で共通で行う事業です。共通で一緒にやるというわけではなくて、各館で同じ名前で同じような事業を行うと</p>

	<p>ということで、1 から 20 ございます。2、17 番、第 2 回久喜市図書館を使った調べる学習コンクールについて説明をします。</p>
井上菖蒲図書館長	<p>～調べる学習コンクールのレプリカを配布。レプリカ及び資料に基づき説明（32 ページ）～</p>
議長（塩崎会長）	<p>菖蒲の館長さん、県の方行ったとか全国行ったとかっていうのはないの、この中から。</p>
井上菖蒲図書館長	<p>今回受賞しました、教育長賞、図書館長賞、奨励賞、この 3 賞。その 3 つの賞を小学校の低・中・高学年、あと中学生の合計 4 部門で 3 つの賞をあげたので、全部で 12 作品集まったんですね。</p> <p>こちらを全部、「第 25 回図書館を使った調べる学習コンクール」っていう、全国コンクールの第 3 次審査の方に推薦応募いたしました。</p> <p>その中でひとつ、ムサシトミヨのことを調べた中学生の作品が奨励賞を受賞いたしました。他の 11 作品は佳作ということで、結果が発表されております。</p>
議長（塩崎会長）	<p>励みになっていいね。ただやっぱりいろいろ、差別にならないようにしないとね。ムサシトミヨか。身近な水についてね。</p> <p>頑張ってください。楽しみにしてますよ。</p> <p>この 17 番の調べる学習と 19 番の調べる学習講座は違うのかな。</p>
井上菖蒲図書館長	<p>18・19 に関しましては、17 番の調べる学習コンクールに関連する講座ということで、各館で開催するものです。</p>
議長（塩崎会長）	<p>はい。こういう時代なんだね。一生懸命頑張ってもらって。</p>
小林中央図書館長	<p>以上が調べる学習コンクールについて、少し詳しくお話をしました。</p>
議長（塩崎会長）	<p>小林館長もう 1 つ、育児コンシェルジュは。この関係、少し説明を。</p>
小林中央図書館長	<p>育児コンシェルジュ及びベビーケアルームについて、事業の名称は新しいんですが、子育て支援ということで、当初から行</p>

っていた託児がコロナの影響で、全く途中からできなくなってしまいました。

来年度からは少し変えて、育児コンシェルジュがお母さんや赤ちゃんに世話をするというか絵本の紹介をしたり、それからベビーケアルームっていうのは、ボックスになっている授乳やおむつ替えができる箱といいますか部屋といいますか、そういったものを置いて、赤ちゃんや子どもと安心して図書館に来てもらえるように環境整備をしたいと思っております。

議長（塩崎会長）

これは、保育士さんに来てもらうの。

小林中央図書館長

そうなんです。育児コンシェルジュも保育士さんに来ていただいて、ちょっとした育児相談ができたり。

図書館っていう場でやりますから、どんな本がいいのかなみたいな本のご案内なんかも一緒に。司書のプラスアルファみたいな仕事も兼ね備えたコンシェルジュになります。

議長（塩崎会長）

これ結構集まるでしょうね。

小林中央図書館長

集まっていたきたいと思って今計画をしております、実は、託児は中央と鷺宮だったんですが、ベビーケアルームとコンシェルジュにつきましては、ここでは同じく中央・鷺宮と書いてあるのですが、途中で計画を変更しまして、菖蒲と鷺宮で。

つまり中央ではなくて菖蒲と鷺宮の2館で考えております。中央はちょっと狭いので、いろんなことがやりづらいものですから、菖蒲に振りました。すいません、ちょっと変更がございます。

議長（塩崎会長）

中央は狭いから児童センターでも借りたら。でも、いいものはね、どんどんやってください。

小林中央図書館長

はい。ありがとうございます。

議長（塩崎会長）

小林さんちょっと待ってください。今、副会長の方から、質問がありますから。

松本委員

すいません。学習コンクールの冊子ですけれども、これ具体的に何冊ぐらい作って、どういう範囲で配布してあるのかとい

うこと、この冊子の活用方法はどのようにかということ、ちょっと見たんですけれども、エアコンの作品があるかと思うんですが、この方の引用文献リストを見ていくと、ほとんど幸手市立図書館で、ほぼ探してるんですけど、これはお住まいが近くなのかな。せっかく久喜の中央図書館も幾つかあるんですけども、幸手市立図書館っていうことでずっと書いてあるので、久喜の図書館は何で利用していただけなかったのかなと。つまり疑問なんですけれど、もしわかりましたらお願いします。

井上菖蒲図書館長

はい。まず、こちらの発行部数なんですけれども、今回 75 部を作成いたしました。

内訳なんですけれども、市内の全ての小中学校に 1 部ずつ、あと今回掲載されました受賞作品の応募者本人への贈呈用に各 1 部の 4 冊、あと教育委員会、生涯学習課、指導課など今回ご協力いただいた皆様にそれぞれ差し上げる分と、委員の皆様にお配りしました 10 冊と、それぞれの図書館で 2 部ずつ登録をするものと、館で登録をせずに保管用として取っておくもので 2 冊の合計 4 冊。あと、市内にあります公民館図書室、そちらに登録用に 1 部ずつの合計 3 冊。

合計しまして、65 の配布と 10 の予備を想定して 75 の発注をしました。

松本委員

はい、ありがとうございます。ただ、素晴らしい冊子なので、例えば今年度また、令和 4 年度も同じ講座を考えると、この参加していただいた子どもたちの参考資料になるのかなという気もしましたものですから、そういう意味で、実際に講座を開くときに、部数がそれで足りるのかなという思いもあったんですけれども。それがいいものですので、より有効活用していただければありがたいなと思いました。以上です。

井上菖蒲図書館長

各学校に配る際にご協力いただいたお礼と、あと、全国で優秀なもののレプリカというものは図書館で置いてあっていつでも閲覧いただけるんですけども、そちらがかなり素晴らしすぎてハードルが高くなってしまったということで、身近なお友達の受賞作品の方がもっととっかかりやすくなるかなという思いもありまして、ぜひ来年度の作品制作にこちらを参考にさせていただきたいということも付け加えて、ご説明等をしております。

議長（塩崎会長）	これみんな参加者には、クリアファイルか何か、くれたんだっけ。そうだよな。
井上菖蒲図書館長	はい。応募いただいた全てのお子さんに対して、参加賞のクリアファイルをもうすでに届けさせていただいております。
議長（塩崎会長）	はい。
井上菖蒲図書館長	ご指摘いただきました幸手の図書館の方が何で多いのかというところに関しましては、ちょっとこちらのお子さんの事情ということもありますので、何とも私どもの方では回答が難しい部分なんですけど、あくまでも図書館を使って、資料を比較して、自分の疑問を調べることが主題にありますので、久喜市の図書館を使っていないから、この子は受賞に値しないというそこは、我々は全く考慮はしておりませんでした。
松本委員	<p>そういう意味ではなくて、いわゆる、この蔵書が久喜市の図書館になかったのかなと思ったものですから。そうではないんですね。同じ市の図書館で、共通したものがあるかわかりませんが、子どもが調べたり、蔵書がたまたま幸手とかにいっぱいあって、久喜市立図書館には少なかったのかな。</p> <p>だとしたら、蔵書をいろいろ考えるときに、いろんな範囲の書籍を購入していただく必要があるのかなという思いもしたものですから、そういう面での参考に考えていただければと思ってちょっと質問させていただきました。ご家庭の事情は重々わかっています。</p>
井上菖蒲図書館長	<p>はい。今、こちらの参考文献一覧の幸手市立図書館って書いてある図書の書名を見ると、児童に大変人気なタイトルになってますので、夏休みの時期になると中央図書館ですともう読書感想文用とかで貸出済みになっていたのではないかなという予測もつきますので、その中で借りやすいところということで、お隣の幸手に行ったのではないかなという、あくまでも私の推測になりますけれども、そういった可能性もあります。</p> <p>ただこちらのタイトルに関しましては、市内でもそれぞれの館で所蔵しておりますので、予約取り寄せということも可能ですので、次、問合せ等があればそういったサービスの提供ということも含めて、我々の課題かなと思います。</p>

議長（塩崎会長）	はい、いいですか。
松本委員	はい。
議長（塩崎会長）	ありがとうございました。青山先生、何かありますか。
青山委員	<p>本当に市立の4館の図書館の方々には、大変この調べる学習コンクールではお世話になりました。先ほどおっしゃっていたようにこちらの冊子の方も、学校に配布していただいておりますので、有効活用したいと思います。</p> <p>また、次年度に向けてということで、すでにまだ口頭の約束なのですが、各図書主任を集めて、一堂に図書館司書の方に調べる学習コンクールの講座を一斉に早速していただくような計画もございますので、また学校の方でも啓発していきたいと思っております。本当に大変お世話になりました。ありがとうございました。</p>
議長（塩崎会長）	<p>ありがとうございました。やっぱり、これは大変好評のようだったからね。ぜひ頑張って、さらに前進を続けてください。</p> <p>次、各館事業の方。</p>
小林中央図書館長	～資料に基づき説明（33～35ページ）～
議長（塩崎会長）	<p>35ページまでは各館事業ということで、ご質問ございましたら。</p> <p>いつも言うけど、名作映画会、これも24回やるようだけど、これ来てますか。</p>
小林中央図書館長	毎回10名ほどですが。
議長（塩崎会長）	10名。
小林中央図書館長	今、定員が約10名なんです、コロナの関係で。
議長（塩崎会長）	<p>10名来てるんだ。それは良かったね。</p> <p>それから、菖蒲のブックトーク12回、結構これも盛況でやっていますか。</p>

井上菖蒲図書館長	<p>こちらでも会場の定員が今、コロナ対策ということで距離を取った上でとなりますので、3組程度の子どもたちの対応ということで、参加してもらっています。</p> <p>2組とか3組とか少ない数ではありますが、コンスタントに参加はいただいています。</p>
議長（塩崎会長）	<p>はい。頑張ってください。鷺宮の週末に行うおはなし会の23回、これすごいじゃないですか。結構来てますか。週末に行うおはなし会ってのは、特別何か、週末用の何か話題があるの。</p>
佐々木鷺宮図書館長	<p>はい。第1と第3の土曜日、3時から行っているんですけども、児童、小学生対象と考えて行っていますが、やはりなかなか、子どもたちも集まることが少ないっていう状況であります。</p>
議長（塩崎会長）	<p>23回で、1回に何組くらい来るの。</p>
佐々木鷺宮図書館長	<p>やはり、2組から4組。</p>
議長（塩崎会長）	<p>なるほどね。特別利用者から何かリクエストがありますか、こういうのやってくれとか。</p>
佐々木鷺宮図書館長	<p>特にリクエストというようなものはないんですけども、おはなし会のボランティアの方が相手の年齢などを見て本を選んでくださってやっております。</p>
議長（塩崎会長）	<p>ありがとうございました。他にございますか、委員の方。次、お願いします。</p>
小林中央図書館長	<p>～資料に基づき説明（36ページ）～</p>
議長（塩崎会長）	<p>どうですか36ページで、ご質問ありましたら。はい、どうぞ芋川さん、お願いします。</p>
芋川委員	<p>目標とするサービス水準の数値についてなんですけど、この数値については久喜市立図書館の基本的運営方針を定めた後に初めて設定した数字かなと思ってるんですけども、令和2年度・令和3年度はコロナ禍の影響があったかと思うんですけど、そういうことをどのように勘案して、令和4年度の数値を設定した</p>

のか教えてください。

小林中央図書館長

はい。実はこのサービス水準というのは、指定管理が始まる前の2019年、平成31年ですね、その2月の段階で指定管理5年間分のサービス水準というのを市の方に提出しております。それに則って、とりあえずコロナを抜いて考えております。コロナは抜いてるということです。

芋川委員

今の回答を聞いて、指定管理者をお受けになる際に設けた数値ってということですね。

そうすると結構、令和4年度の目標数値というのは、図書館側っていいですか指定管理者側にとっては厳しい数値なのかなという、そういう感想を持ちました。

小林中央図書館長

はい。そのとおりです。

議長（塩崎会長）

なるべく努力してもらって。今年、来年、最後の踏ん張りで頑張ってください。

次いきましょうか。

小林中央図書館長

～資料に基づき説明（37ページ）～

議長（塩崎会長）

ご質問ございますか。次、お願いします。

小林中央図書館長

～資料に基づき説明（38～40ページ）～

議長（塩崎会長）

自主点検にしても、きちっとやってるんでしょう。

小林中央図書館長

もちろんでございます。

議長（塩崎会長）

鷺宮さんも同じようにね。シールを貼っておくの。これは終わったとか。

小林中央図書館長

年間の計画表がこれとは別にありますので、それを見ながらきちんとこなしているところです。

議長（塩崎会長）

はい。次お願いします。

小林中央図書館長	～資料に基づき説明（41 ページ）～
議長（塩崎会長）	図書館のボランティアさんってのも、大体名簿作ってるの。大体は、毎年来てくれる人が。
小林中央図書館長	<p>そうですね。もう来年度に向けて年間の行事が決まっておりますので、どの日に誰が来ていただけるなんてことを、策定は始めております。</p> <p>あとボランティア保険というものもありまして、名簿が必要なので、きちんと把握をしております。</p>
議長（塩崎会長）	<p>運営は結構円滑に行ってるわけですね。</p> <p>ご質問ございますか。指定管理者が今年4年目ということで、ご説明いただきました。事業計画ということで、保守管理に至るまでそしてボランティアに至るまで、滞りなく終わらせていただきました。</p> <p>ご質問がなければこれで終わりにしますけど、よろしいですか。</p> <p>はい、三根さん、どうぞ。</p>
三根委員	ボランティアは読み聞かせと、小さい子の紙芝居とか、そのぐらいのことですか。
小林中央図書館長	読み聞かせの方と音読のボランティアさんがいらっしゃいます。
議長（塩崎会長）	三根さん、いいですか。
三根委員	はい。
議長（塩崎会長）	ありがとうございます。他にございませんか。はい。佐藤さんお願いします。
佐藤委員	先ほど、言おうかなと思ったんですけど、一番最初の2ページの重点目標の文言なんですけど、先ほどのいただいた冊子やら、実践の様子やら、聞かせていただきましたけれども、こういう素晴らしい実践をやっている、あるいはこれからもやっついこうとしているのであれば、その調べる学習っていうのを重

点目標の中に具体的に入れちゃって、前面に出していった方がいいのではないかと先ほども思ったんですけど。

今までの取り組みの様子などを聞いている中で、やっぱり入れた方がいいなと思って聞いておりました。これ内部だけの資料であればそれは構わないと思うんですが、おそらくいろんなところで市民の皆様や学校の関係者の方々にも目に触れると思うんですね。

そういうときに、市の図書館の活動がこういう重点目標に基づいてやってるんだなということのPRにもなるかなと思いましたが、その辺の文言についてちょっとお考えいただければと思います。以上です。

議長（塩崎会長）

はい。ありがとうございます。どうですか。

小林中央図書館長

ご意見ありがとうございます。実は我々も、おはなし会・ブックトークというのはある意味、どの図書館でも、全国やってないところがないぐらいで、やって当たり前のサービスなんですけど、ブックトークはそれほどないんですね。

調べる学習コンクールとなりますと、やはり特定の図書館でしかやってませんし、おはなし会は言葉のとおり、読み物を中心とした、ここにもありますが、情緒を育成するもの。

調べる学習コンクールっていうのは、教科的というか本当に調べる、学ぶという学習の本質をついたもので、ちょっと毛色の違った児童サービスを2つやりますよってことを言いたくて、子ども読書活動支援としたんですね。

両方とも子どもにとって必要なサービス、図書館としてのサービスだと思っておまして、ただ重点というのは、おっしゃるとおり調べる学習コンクールと挙げるのも良かったかなとも思います。来年度考えます。

議長（塩崎会長）

よろしいですか。

佐藤委員

ありがとうございます。

小林中央図書館長

ただ内容をご覧いただくと、ほとんど調べる学習のことしか書いてないんですがね。

佐藤委員

大変すばらしい取り組みなので、私は「読書活動」、「・」、「調べ学習の支援」という形で、並列で出せるかなと思ったんで

	すけれども。来年でも結構です。
議長（塩崎会長）	<p>ただいまの件、非常に、皆さんで後でゆっくり意見交換してもいいですね、これね。</p> <p>とりあえず今の、今後の検討課題ということでよろしいですか。</p>
佐藤委員	はい。
議長（塩崎会長）	<p>小林さんそういうことで、今後ね。あと、今年、来年か。追いつけて1つ頑張ってください。</p> <p>最初の議題はこれで終わらせていただきます。令和4年度の事業計画について終了いたします。ありがとうございました。</p> <p>次に2番目、その他について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局（諏訪課長補佐）	はい。次回の日程についてです。今回は、令和3年度の事業報告を予定しておりまして、7月頃に開催したいと考えております。事務局からは以上です。
議長（塩崎会長）	<p>今回は7月頃ということですが、日程は事務局一任でよろしいですか。</p> <p>（事務局一任の声あり）</p>
議長（塩崎会長）	<p>よろしいですかね。はい。それでは一任いたします。</p> <p>そうしましたら、本日の議題、すべて終了いたしました。進行司会の方にお返しいたします。</p>
司会（諏訪課長補佐）	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>それでは閉会にあたりまして、松本副会長からごあいさつをお願いしたいと思います。</p>
松本副会長	～閉会あいさつ～
司会（諏訪課長補佐）	以上で久喜市立図書館運営審議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和4年3月30日

久喜市立図書館運営審議会

委員 柴崎 和雄 _____

委員 佐藤 利幸 _____